

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-110	高等学校	地理歴史科	歴史総合	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	歴総 046-901	明解 歴史総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化など急激に変化する現代社会に至るまでの歴史的過程を理解し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指した。特に、現代的な諸課題が形成された歴史的背景への理解を深め、それらの課題を追究することで、「歴史的な見方・考え方」を働かせて多面的・多角的に考察する力を習得できるようにした。また、社会の形成に主体的に参画する態度が身につくよう留意した。

2. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

(1) 現代的な諸課題が生じた歴史的経緯の理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

- ・国際協力の重要性を理解できるよう、2部では日本とアジアとの結びつきや、欧米諸国との交流の中で進んだ日本の近代化について、3部では世界大戦の中で生まれた国際秩序に向き合う日本の動きについて、4部では冷戦下と冷戦後の日本の国際的な立場と役割について丁寧に取り上げた。
- ・現代的な諸課題について、その歴史的経緯について理解を深めることができるよう、2～4部でコラム「未来へ活かす歴史」及び特設「探究レポート」を設けた。
- ・当時の人々が直面した課題について、当時の状況を踏まえながらどのような判断を下したのかを考察することができるよう、2～4部でコラム「歴史の選択肢」を設けた。

(2) 歴史的事象の考察を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う教科書

- ・思考力・判断力・表現力を養うことができるよう、学習を見通す「章の学習課題」や本文ページごとの「学習課題」、学習を振り返る「章の振り返り」「確認」「説明」などを設けた。
- ・資料の活用を通して思考力・判断力を身につけ、自らの力で歴史的事象を考察できるよう、写真や統計資料、史料の読み解きを促す「読み解き」を随所に設けた。
- ・複数の資料を読み解き、当時の社会が抱えた課題や人々の判断について生徒どうしで意見交換をすることで、協働的な学びと学習の自己調整を実現できるよう、特設「歴史に迫る！」を設けた。

3. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	○さまざまな資料の種類とその特性を紹介し、実際に資料活用を行いその留意点を自分で確認することで、歴史学習において資料を扱うための知識と教養を身につけることができるよう配慮した(第1号)。	p.3-8
2部 近代化と私たち 1章 「近代化」への問い 2章 江戸時代の日本と結びつく世界 3章 欧米で生まれる国民国家	○欧米諸国の近代化とアジアへの影響について丁寧に扱うことで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した(第1号)。 ○日本の開国前後の動きから産業革命までを丁寧に扱い、近代化と産業の発展には先人達の	p.28-40、 42-56 p.53-56、 60-66、

<p>4章 産業革命による欧米とアジアの変化</p> <p>5章 日本における近代国家の形成</p> <p>6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化</p> <p>7章 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう</p>	<p>たゆまぬ努力があったことを示すことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○江戸期の日本において社会や経済が成熟し、アジアで最初に近代化を成し遂げる基盤が形成されたことを解説することで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>73-74、78、83-84</p> <p>p.19-20</p>
<p>3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い</p> <p>2章 第一次世界大戦とその影響</p> <p>3章 大衆社会の形成と社会運動</p> <p>4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方</p> <p>5章 第二次世界大戦とその影響</p> <p>6章 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう</p>	<p>○普通選挙権獲得の歴史や大衆社会の形成、また、第二次世界大戦中の大衆の動きや戦後の日本の民主化について丁寧に扱うことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○世界と日本の両面で、女性の選挙権獲得の歴史を丁寧に解説することで、男女の平等を重んじ、公共の精神に基づいて、主体的な社会の形成に参画できるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○第一次世界大戦後の国際協調の動きやその課題、また第二次世界大戦から国際連合の成立までの流れを丁寧に解説することで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>p.108-116、120-130、141-142、150</p> <p>p.111-114、141-142、150</p> <p>p.101-106、111-112、116、120-130、132-144、151-152</p>
<p>4部 グローバル化と私たち</p> <p>1章 「グローバル化」への問い</p> <p>2章 冷戦で揺れる世界と日本</p> <p>3章 多極化する世界</p> <p>4章 グローバル化のなかの世界と日本</p> <p>5章 「歴史総合」を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう</p>	<p>○これまでの学習を踏まえ、現代的な諸課題について自分でテーマを設定し、その歴史的経緯をレポートとしてまとめて展望を示すことで、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○核開発競争と核実験による汚染のほか、環境問題への世界的な取り組みを紹介することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した（第4号）。</p> <p>○国際社会に復帰した日本と世界の関わりや、日本の国際協調について丁寧に扱うことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>p.199-204</p> <p>p.163-168、175</p> <p>p.160-172、176-186、188-198</p>
<p>4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</p>		
<p>●教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させ、教科書紙面を超えたさまざまな学びや個別最適な学びに対応できるようにした。特に、「一問一答」「見通し・振り返りシート」「歴史に迫る！ワークシート」は学習内容の定着を促すこと、「人物紹介」「用語解説」は事項に対する理解を深めること、「動画」「NHK for School」「外部リンク」は学習意欲を高めることができるよう、それぞれ配慮した。</p> <p>●色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮した。本文やキャプションなどの文字については、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用した。</p> <p>●造本においては、環境に配慮し、かつ鮮明に発色し裏写りがしない用紙を使用した。また、使用期間中に破損することがないよう、堅牢な造りにした。</p>		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-110	高等学校	地理歴史科	歴史総合	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	歴総 046-901	明解 歴史総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●グローバル化する国際社会に主体的に参画し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

1. 世界との中の日本を広く相互的な視野から捉えられる教科書

- ・日本と世界の結びつきを常に意識できるよう、2～4部の本文で日本と世界の歴史を一体的に記述するようにした。その際に、日本と世界、特にヨーロッパとアジアが相互にどのような影響を与えていたのか、同時代的な動きを捉えられるようにした。
- ・コラム「**世界の中の日本**」を随所に設け、当時の日本が世界とどのように結びつき、相互にどのような影響を与えていたかを理解できるようにした。
- ・日本と世界の文化的つながりが見える特設「**生活・文化から見る日本と世界**」を設け、当時の日本人の暮らしや社会がどのような世界情勢の中で形成されたのか、また日本の物品や文化を世界がどのように受け止めたのか、などについてビジュアルな資料と文章から理解できるようにした。
- ・本文ページの右側には、巻末に設けた日本の年表と対応する印を示し、現在学習しているページが日本のどの時代にあたるのかわかるようにした。
- ・世界を同時代的に概観する地図を多数掲載し、日本と世界のつながりが理解できるようにした。

2. 現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察することができる教科書

- ・本文の記述は、各部の主題(「近代化」「国際秩序の変化や大衆化」「グローバル化」)の形成や変化が常に意識できるようにし、現代的な諸課題がどのような歴史的経緯で発生したのか理解できるようにした。
- ・2～4部の1章では、**各部の学習内容と現代との関連性や相違点が見える写真やグラフ**を取り上げ、これから学習する内容が現代社会の形成にどのように関わっているのか、見通しを立てて学習に臨めるようにした。
- ・2～4部の最後の章では、学習内容を踏まえ、各部の主題(4部では学習全体)に関わる現代的な諸課題を設定し、自ら考察する活動を行えるようにした。現代的な諸課題の考察にあたり、5つの視点(自由と制限、平等と格差、開発と保全、統合と分化、対立と協調)やその探究事例を紹介し、課題設定や歴史的現象を捉えるための視点についてヒントが得られるよう工夫した。
- ・コラム「**未来へ活かす歴史**」を、5つの視点を示すアイコンを付して随所に設け、現代的な諸課題を考察するうえで参考となるようにした。
- ・特設「**探究レポート**」を9か所に設置し、重要な事象や概念について理解を深められるテーマを取り上げた。また、生徒自身の探究活動の参考となるよう、レポートとそれに対する会話形式で構成した。

3. 「歴史的な見方・考え方」を働かせながら考察できる教科書

- ・1部2章「歴史の特質と資料」で、「**歴史的な見方・考え方**」について例示しながら解説し、資料を読み解いたり、多面的・多角的に考察したりする際に必要な視点がわかるようにした。
- ・2～4部の1章で、各部の主題に関わるキーワードとそれに関する資料を複数設けた。これにより、これから学習する内容に対して、資料を活用して**自分の問いを表現**することができるようにした。
- ・章の初めには「**章の扉**」を設け、「**章の学習課題**」を設定するとともに、各章を象徴する図像資料や統計資料などを大きく掲載した。また、章全体の流れやまとまりを示した構造図を設け、学習の見通しが立て

やすくなるよう工夫した。

- ・各本文ページに「**学習課題**」を設け、どのような点に着目して学習を進めていけばよいか示した。
- ・各本文ページの右下には「**確認**」と「**説明**」を設け、学習課題に関連する知識を習得したり、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら学習内容を説明したりする活動を充実させた。
- ・各章末には、「**章の振り返り**」を設け、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら、現代的な諸課題の形成につながる視点から、自らの考えをまとめる活動を充実させた。

4. 資料の活用や歴史的技能の習得を通して思考力・判断力が育成できる教科書

- ・特設「**歴史に迫る!**」を5か所に設け、学習した内容を踏まえて、複数の資料やさまざまな人の意見を読み解くことで、当時の状況への理解を深めながら思考力・判断力を育成できる活動を充実させた。
- ・コラム「**歴史の選択肢**」を随所に設け、国内外で議論となった歴史上の出来事について、当時の人々の立場を踏まえて考察することで、思考力・判断力を育成できるようにした。
- ・写真や統計資料、史料を充実させるとともに、資料読解を促す「**読み解き**」を本文ページの導入などに設けることで、資料の比較や関連づけなど、資料の活用を通して思考力・判断力が身につくようにした。
- ・特設「**技能を磨く**」を随所に設け、歴史的技能を習得できるようにした。1部2章には資料を取り扱う際の着目点・注意点を示す「**歴史の特質と資料**」を設け、資料活用と読み解く技能を育成できるようにし、各ページの「**読み解き**」や特設「**歴史に迫る!**」など、随所で活用できるようにした。また、情報をまとめたり表現したりする技能を重視し、「**情報の集め方**」「**レポートや小論文の書き方**」などの技能を習得できるようにした。

5. 世界史初学者に向けた配慮や中学校の学習との接続を意識した教科書

- ・本文は平易に記述し、巻末には「**頻出用語解説**」を設けて概念用語や歴史的経緯を理解する一助となるようにした。
- ・また、QRコンテンツとして、「**一問一答**」や「**用語解説**」、「**人物紹介**」などを用意し、基礎・基本の定着が図れるようにした。
- ・本書の冒頭には、資料ページとして前近代資料「**地域の歩み**」を設け、世界各地の近代までの歴史を学習していない生徒でも、各地域の地理的・歴史的な背景が端的に理解できるようにした。
- ・2部・3部の最後には、特設「**明解! 近現代史**」を設け、各部の学習を振り返るにあたって特に重要な事象や概念、歴史的経緯を、資料や年表、文章から大観できるようにした。
- ・2～4部の導入には、中学校での学習内容を文章と図版で確認するページを設け、中学校で学習した内容を踏まえて、これから学習する時代を考察できるようにした。
- ・各本文ページの左下には「**中学校との関連**」を配して、中学校の歴史的分野での既習項目について確認できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1部 歴史の扉			
1章 歴史と私たち	A(1)	p.1-2	1
2章 歴史の特質と資料	A(2)		
1節 資料を取り扱ってみよう		p.3-7	2
2節 歴史叙述とは何か考えてみよう		p.8	1
2部 近代化と私たち			
1章 「近代化」への問い	B(1)	p.13-17	1
2章 江戸時代の日本と結びつく世界	B(2)	p.18-27	3
3章 欧米で生まれる国民国家	B(3)	p.28-41	5
4章 産業革命による欧米とアジアの変化		p.42-59	7
5章 日本における近代国家の形成		p.60-69	3
6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化		p.70-80	5

7章 「近代化」を振り返り 現代的な諸課題と結びつけて考えよう	B(4)	p.81-82	2
3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち			
1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い	C(1)	p.87-91	1
2章 第一次世界大戦とその影響	C(2)	p.92-107	5
3章 大衆社会の形成と社会運動	C(3)	p.108-119	4
4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方		p.120-131	4
5章 第二次世界大戦とその影響		p.132-148	7
6章 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り 現代的な諸課題と結びつけて考えよう	C(4)	p.149-150	2
4部 グローバル化と私たち			
1章 「グローバル化」への問い	D(1)	p.155-159	1
2章 冷戦で揺れる世界と日本	D(2)	p.160-175	4
3章 多極化する世界	D(3)	p.176-187	5
4章 グローバル化のなかの世界と日本		p.188-198	5
5章 「歴史総合」を振り返り 現代的な諸課題の形成と展望を考えよう	D(4)	p.199-204	2
			計 70 時間